

スマートシティのための「地理空間データ連携基盤」

自治体向け地理空間データ連携基盤

国、都道府県、自治体、民間のデータを連携させ、何度も再利用し、さまざまな業務システムや市民サービスを作ることができます。防災、MaaS、政策立案支援、教育分野でのアプリケーションが生まれています。

内閣府によるスマートシティリファレンスアーキテクチャで標準化を進めています

各種データを統合し、API地図として配信。開発-運用コストを削減。



「地理空間データ連携基盤」は、さまざまな組織の、異なるシステムにあるデータを取り込み、高速で機械判読可能なデータに変換・可視化し、API 配信するシステムです。防災、MaaS、EBPM、公開型GIS、教育アプリなどさまざまなアプリケーションを大量に、従来よりも低コストで生み出すことができます。

この仕組みは、Geoloniaがデジタル田園都市国家構想交付金を活用して高松市において提案・開発したもので、内閣府科学技術・イノベーション推進事務局によって横展開の仕組みとして採用され、スマートシティ・リファレンスアーキテクチャ（内閣府が発行するSociety 5.0 達成のための基本指針）に掲載されることとなりました。

スマートシティ・リファレンスアーキテクチャとGeoloniaが執筆した別冊の「地理空間データ連携基盤」

「地理空間データ連携基盤」第2版（日本語版）

https://www8.cao.go.jp/cstp/society5_0/smartcity/scra-gs_2_3.pdf

「地理空間データ連携基盤」第2版（英語版）

https://www8.cao.go.jp/cstp/society5_0/smartcity/en_scra-gs_2_4.pdf

特徴

- ・開発&運用コスト削減
- ・横展開しやすい統一フォーマット
- ・ベンダーロックフリー / オープンソース
- ・AI/ロボティクス対応の空間ID対応

新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）

事前相談用の様式の作成やKPIの考案など、交付金の手続きをサポートいたします。

主な機能

データ変換機能 / 地図タイルサーバー / アクセスログ / アナリティクス / SDK / ドキュメンテーション

オープンソース

タイル化した地理空間情報を取り扱うために、オープンソースのライブラリ（SDK）を活用しています

MapLibre GL JS (MIT) / deck.gl (MIT) / Ouranos Ecosystem (MIT)

連携可能データ

地理空間データ連携基盤では、都市OSから提供される各種のデータや、民間企業や政府機関から提供される様々なデータを連携させることが可能です

自治体のデータ

自治体標準オープンデータセット / 都市計画基本図及びその他の都市計画情報 / 各種台帳類

政府のデータ

地理院地図（国土地理院） / 国土数値情報（国土交通省）
GeoJSON またはベクトルタイルフォーマットで配信される各種のオープンデータ

民間のデータ

人流データ / 気象データ / 民間企業によって整備された各種の地理空間情報 / その他

各種リアルタイムデータ

導入事例

高松市 / 加古川市 / 焼津市 / 那須塩原市



株式会社Geolonia

お問い合わせはWebサイトから

<https://www.geolonia.com/geolonia-maps-for-smartcity/>